

令和2年4月29日

地域連絡協議会の皆様へ

全国学童保育連絡協議会
会長 西田隆良

第55回全国学童保育研究集会 in 山形の中止について

地域連絡協議会の皆様には、常日頃より学童保育の充実・発展に向けて、たゆまぬ取り組みをすすめられていることと存じます。

今般の新型コロナウイルス感染症の猛威は、2月頃から都市部を中心に全国的な広がりを見せはじめ、突然2月27日にだされた政府からの要請により、3月に入り、全国一斉の学校の臨時休校が始まりました。社会の機能および経済活動の維持のため、学童保育は午前中からの開所要請がなされました。

新学期を迎えた4月7日には緊急事態宣言が出され、多くの地域では今も学校の臨時休校が続いており、感染者の数も一向に収まる気配が見られません。

多くの学童保育では密閉・密集・密接の三密を避けることはできません。また職員体制が十分とはいえない中で、子どもも指導員も常に感染のリスクに晒されながら、日々不安を抱えながらも日常の学童保育を取り戻すべく奮闘されています。

このような状況のもと、全国学童保育連絡協議会役員会は、4月の全国運営委員会、5月に山形で開催を予定していた全国合宿研究会を共に中止と判断しました。また全国10会場で開催を予定していた全国学童保育指導員学校については、6月から7月にかけての開催を中止もしくは秋以降への延期の検討を行っているところです。

この間、感染拡大の状況や開催地の皆様のお話を伺いながら、全国研をなんとか開催できないものかと模索してきました。しかしながらこれ以上判断を遅らせることは、山形の皆様をはじめ、全国の皆様に多大なるご迷惑をかけ、不安を募らせることとなります。誠に残念ではありますが、全国学童保育連絡協議会役員会として、第55回全国学童保育研究集会 in 山形の中止を判断いたしました。

皆様の元気な笑顔にお会いすること、山形の学童保育にふれることを楽しみにしておりましたが、中止をお伝えすることとなり心苦しく思っております。

来年の全国研で全国の学童保育関係者の皆様と集うことを楽しみに、今後も皆様とともに学童保育をよりよくする活動に取り組んでまいりましょう。